

令和6年度 第3回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

令和6年11月21日（木）18:30～20:35

横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者 8名…石黒、小串、笥、小池、高澤、丸岡、山岸、加藤、村野
事務局 2名…地域コミュニティ支援課 山岸、松本
指定管理者 2名…NPO 法人 YMCA コミュニティサポート 吉永、茂澤

配布資料 1 利用状況、利用者の声
2 夏のボランティア・市民活動体験 報告
3 のたろんフェア 2025 について
4 サポートセンターデータベース登録団体（新規・異動分）と公益性の判断について
5 第4回の日程変更について

1 報告事項

1-（1）利用状況、利用者の声について

指定管理者及び地域コミュニティ支援課から、資料1に沿って報告した。

（指定管理者：汐入について）

- ・ 令和6年4月から10月までの利用者数は、1万8,404人、前年度比104.59%の微増、利用団体数は4,868団体であり、前年度比101.08%の微増の利用状況であった。
- ・ データベース登録団体数は、764団体であり101.25%の微増であった。
- ・ コピー機の料金収入は前年度に比べ増収（前年度比111.48%）、印刷機の料金収入は前年度に比べ減収（前年度比98.65%）となっている。
- ・ 市民活動サポートセンター分野別利用者数推移は、「文化・芸術・スポーツ」の分野の方の利用が多い傾向となっている。コーナー別の傾向として、キッズコーナーの利用が増えている。
- ・ 曜日・時間別統計では、曜日の傾向として月曜日と金曜日の利用が少なくなっている。曜日ごとの傾向を引き続き分析をしている。
- ・ 利用者の声のうち、以下についての意見があった。

（8月）

- ・ こんなに空いているのに勉強のために使用することはダメなのかというご意見をいただいた。今後、このようなご質問をいただいた際は、個人で自由に利用できるエリアとそうではないエリアがあることを丁寧に説明していきたいと考えている。

- ・ また、室温が暑く、空調の温度を下げしてほしいというご意見をいただいた。市民活動サポートセンターの空調は、中央管理室で一元的に管理・稼働させているため、迅速な対応が難しい。また、室温が下がりすぎると外気温と空調の温度差により、結露が発生します。これらのこともあり、利用者の皆さまにはご迷惑をかけてしまうことがあるため、アナログ的な対応であるが、サーキュレーターや扇風機で空気の流れをつくるなどの対応を引き続き行っていきたい。

(9月)

- ・ フードパントリーコーナーにあるお菓子などをキッズコーナーに移動させたことにより、親子でお菓子を食べてくれる場面もあった。

(地域コミュニティ支援課：久里浜について)

- ・ 4月から10月の合計について、利用者数合計は510人、利用団体数合計は212団体であった。前年度との比較では、利用者数は4.59%増、利用団体数は1.08%増となった。
- ・ コピー機・印刷機利用の4月から10月の合計について、コピー機料金収入は23,180円であり、前年度との比較としては、30.89%増であった。印刷機料金収入は41,880円であり、前年度との比較では、0.43%減であった。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・ キッズコーナーの利用が増えているとのことであるが、子どもの健全育成に関する団体の数はそうでもない。利用されている団体の分野との関係性ともあわせて分析することで、さらに見えてくるものがあると考えている。

→ぜひ対応する。(指定管理者)

- ・ 印刷機などの利用が減っている背景として、印刷機などを使わず、専門の業者に発注していることが想定される。その流れをふまえて、印刷機などのあり方とし、台数の精査なども検討しても良いと考えている。

→現在3台ある。時期により稼働率が異なる、年度の始めは稼働率が高い。専門の業者に発注する傾向があること、稼働率が時期により異なることをふまえて、あり方を検討する。(指定管理者)

- ・ 室温が暑いことについてであるが、暑いエリアとそうでないエリアが想定している。エリアにより対応が異なってくると考えられる。空調が個別調節できないから、しょうがない面もあると思う。

→ミーティングコーナーが暑くなる傾向がある。参考にする。(指定管理者)

1－(2) 夏のボランティア・市民活動体験 報告

指定管理者から資料2に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・ キャンペーン期間は7月20日(土)から9月15日(日)であり、参加団体は36団体、イベント数は40であった。昨年度については、参加団体が29団体と、イベント数は33であり、増加した。今年度のキャンペーン期間について、学生の休みを踏まえ、期間を延ばした。
- ・ 参加団体説明会は6月28日(金)に行い、16団体の参加があった。
- ・ イベントの参加人数は1,603人、ボランティアは242人であった。昨年度については、参加人数は1,600人、ボランティアは202人であり、増加した。
- ・ 参加団体から「自団体企画の中では参加者の多い企画になった」「若い方に入会いただけた」という声があった。
- ・ 学生ボランティアの参加人数について、今年度は大学へのPRを強めたが、昨年度の人数より少なく、31人にとどまった。

..

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・ 参加してくれた学生の声聞いて、どうしたら学生が参加してくれるのかを分析しているのか。
→分析をして、次につなげていく。(指定管理)

1－(3)のたろんフェア2025

指定管理者から資料3に沿って報告した。

- ・ 開催日は2月8日(土)と9日(日)であり、参加団体募集は12月5日(木)までである。参加形態は、活動紹介展示ブース、出店フリマブース、映像による活動紹介や体験ができるコーナー、ミニ展示、のたろんチャンネルがある。PRイベントは2月1日にリドレ横須賀入口にて行う。
- ・ ポスターデザイン募集について、のたろんフェアのPRポスターのデザインを募集しており、10日31日(木)に締め切った。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・ 現在の状況はどうなっているのか。
→2人から応募があり、厳選なる会議を行ったところである。(指定管理)

2 議題

2－(1)データベース登録団体と公益性の判断について

指定管理者から資料4に沿って前回以降の新規登録・異動団体について説明した。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・ 市民活動サポートセンターに団体として登録できるが、公益性がない場合は、どのようなサービスを受けることができるのか。
→ミーティングコーナーの予約はできないが、印刷機や複写機の利用、交流サロンの利用はできる。(指定管理)

3 その他

3－（１）第４回の日程の変更

地域コミュニティ支援課から、資料５に沿って説明した。

変更日について、構成員から反対意見はなく、２月２０日（木）から２月２７日（木）に変更となった。